

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 8 月 17 日	
所属部局・職	公益財団法人日本モンキーセンター キュレーター
氏名	赤見 理恵

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
東京国際フォーラム (〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1)	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
丸の内キッズジャンボリー2014 TIF ワンダーキャンパス「サル・ヒト・キミ研究室」出展	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
平成 26 年 8 月 11 日 ~ 平成 26 年 8 月 14 日 (4 日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>夏休み中の子どもたちに体験や学習の機会を提供するために毎年東京国際フォーラムで開催されている「丸の内キッズジャンボリー」に、「サル・ヒト・キミ研究室」と題したブースを、PWS、WRC、JMC の共同で出展いたしました。</p> <p>調査機材に触れたりテントやシュラフ等を体験できるコーナー、霊長類の能力に挑戦できるサルリンピック、剥製標本や頭骨レプリカなどを展示したコーナーなどを配置し、見るだけでなくスタッフと交流したり体験したりと、参加体験型の展示となりました。</p> <p>また1日3回ミニ講座を開催し、若手研究者やキュレーターによる講義をおこないました。</p> <p>3日間で全体では3万5千人の来場者があり、「サル・ヒト・キミ研究室」にも千人近くの方が来場してくださいました。東京の子どもたちに霊長類をはじめとした動物の面白さを伝えることができたこと、そして個人的には普段接する機会の少ないWRCの皆さまと一緒に活動し様々なお話を伺えたことが、大きな成果だったと思います。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「サル・ヒト・キミ研究室」全景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1日目終了時にスタッフ全員で</p> </div> </div>	
6. その他 (特記事項など)	